

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 松屋フーズ

上場取引所 東

コード番号 9887 URL <http://www.matsuyafoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緑川 源治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営開発本部長

(氏名) 小松崎 克弘

TEL 0422-38-1121

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	30,508	△0.1	884	11.7	851	9.5	348	49.7
21年3月期第2四半期	30,526	—	791	—	777	—	233	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	18.31	—
21年3月期第2四半期	12.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	47,438	29,173	61.5	1,530.74
21年3月期	47,894	29,053	60.7	1,524.42

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 29,173百万円 21年3月期 29,053百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
22年3月期	—	12.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	0.2	2,320	△2.9	2,240	△5.6	800	8.1	41.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 0社 (社名) 除外 0社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 - ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 19,063,968株 | 21年3月期 | 19,063,968株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 5,832株 | 21年3月期 | 5,428株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 19,058,203株 | 21年3月期第2四半期 | 19,058,935株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年7月31日に公表いたしました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響により景気後退が一層深刻化いたしました。さらに、外食業界におきましては、個人消費の低迷による市場規模縮小が進む中、業界内部における競争のみならず、中食業界のマーケット拡大等の業界を越えた競争激化に加え、食の安全・安心に対する消費者意識の一層の高まりから、各企業の取り組み姿勢が厳しく問われる状況へと変化し、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境の中で、当社グループは以下のような諸施策を推進し、業容の拡大と充実に積極的に取り組んでまいりました。

新規出店につきましては、直営の牛めし定食店19店舗、海外（中華人民共和国上海市）1店舗の計20店舗を出店いたしました。一方で、直営店4店舗につきましては撤退いたしました。したがって、当第2四半期末の店舗数はFC店を含め、769店舗（うちFC8店舗、海外6店舗）となりました。この業態別内訳としては、牛めし定食店738店舗、鮎業態12店舗、とんかつ業態11店舗、その他の業態8店舗となっております。

新規出店を除く設備投資につきましては、42店舗の改装（全面改装6店舗、一部改装36店舗）を実施した他、工場生産設備などに投資を行ってまいりました。

商品販売及び販売促進策につきましては、「新生活応援キャンペーン」として、「牛めし」の値引き販売、「豚めし」の値下げを実施し、8月に「夏トク応援フェア」として第1弾「うまトマハンバーグ定食500円」、第2弾「フレッシュトマトカレー250円」の販売を実施いたしました。また、新メニューとして「チーズ入りハンバーグ定食」「うまトマチーズ入りハンバーグ定食」「フレッシュトマトカレー」を販売いたしました。

これらの取り組みの結果、第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりとなりました。

まず、売上高につきましては、既存店が前年比96.6%と前年を下回ったものの、前年度以降の新規出店による売上増加分が寄与したことにより、ほぼ前年同期並の305億8百万円となりました。

売上原価につきましては、原価率は前年同期の33.2%から32.4%へ改善いたしました。これは、前年度9月に実施した売価変更の影響等によるものであります。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高に対する比率が前年同期の64.2%から64.7%へ上昇いたしました。この要因は、人件費の売上高に占める割合は、店舗におけるアルバイト・パートの平均時給低下と店舗における生産性向上の取り組みにより、前年同期の34.4%から34.1%と改善したものの、テレビCM等の販売促進策に関する経費が増加したことにより、人件費以外の経費の売上高に占める割合が、前年同期の29.8%から30.6%と上昇したことによるものであります。なお、当社において重視すべき指標と認識しているFLコスト（売上原価と人件費の合計。FOODとLABORに係るコスト）の売上高比は、前年同期の67.6%から66.5%へと改善いたしました。

以上の結果、営業利益は前年同期比11.7%増の8億84百万円、経常利益は同9.5%増の8億51百万円、当期純利益は同49.7%増の3億48百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

なお、当社グループは、前述のとおり、第2四半期末の769店舗のうち牛めし定食店が738店舗を占め、そのうちの731店舗は直営であります。そして、直営店売上の牛めし定食店事業に係る売上高は全売上高の9割以上となっております。この事業以外の売上高の割合が少ないため、当社グループでは事業の種類別セグメント情報を記載しておりません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は474億38百万円となり、前連結会計年度末比4億55百万円減少いたしました。このうち、流動資産は101億69百万円となり、現金及び預金が5億13百万円減少したこと等によって、前連結会計年度末比4億38百万円減少いたしました。また、固定資産は372億68百万円と、ほぼ前連結会計年度末と同水準となっております。

当第2四半期末における負債は182億65百万円となり、借入金・未払法人税の減少等によって前連結会計年度末比5億75百万円減少いたしました。

当第2四半期末における純資産は291億73百万円と、前連結会計年度末比1億19百万円増加となり、自己資本比率は前連結会計年度末の60.7%から61.5%へと改善しております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億3百万円減少し、31億96百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は17億円(前年同期は1億47百万円の支出)となりました。

これは「減価償却費及びその他の償却費」11億81百万円や「税金等調整前四半期純利益」7億90百万円、「仕入債務の増減額」2億7百万円といった資金増加要因があった一方、「法人税等の支払額」7億85百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は14億12百万円(前年同期は22億43百万円の支出)となりました。

これは新規出店・既存店改装等の設備投資実施による「建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出」9億51百万円や「店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出」4億65百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億96百万円(前年同期は1億74百万円の支出)となりました。

これは「長期借入れによる収入」15億円といった資金増加要因があった一方、「長期借入金の返済による支出」19億73百万円や「配当金の支払額」2億28百万円といった資金減少要因があったこと等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績を勘案し、平成21年7月31日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日(平成21年10月30日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

(経過勘定項目の算定方法)

連結財務諸表等の作成に際しては、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、一部簡便な方法を採用しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,402,541	6,915,713
受取手形及び売掛金	306,566	186,267
商品及び製品	219,636	187,553
原材料及び貯蔵品	2,012,218	2,064,842
繰延税金資産	423,072	456,932
その他	805,460	796,338
貸倒引当金	△142	△134
流動資産合計	10,169,353	10,607,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,065,684	11,129,215
機械装置及び運搬具(純額)	1,027,505	1,086,489
工具、器具及び備品(純額)	1,216,602	1,338,177
リース資産(純額)	39,188	—
土地	8,786,030	8,786,030
建設仮勘定	74,636	42,832
有形固定資産合計	22,209,648	22,382,746
無形固定資産		
ソフトウェア	139,560	170,961
のれん	35,178	47,594
その他	32,051	21,065
無形固定資産合計	206,790	239,622
投資その他の資産		
投資有価証券	108,687	29,818
敷金及び保証金	12,477,140	12,519,277
長期前払費用	500,777	516,390
店舗賃借仮勘定	298,647	79,454
繰延税金資産	575,450	585,785
投資不動産(純額)	655,669	690,118
その他	257,145	268,209
貸倒引当金	△21,035	△24,887
投資その他の資産合計	14,852,483	14,664,167
固定資産合計	37,268,921	37,286,535
資産合計	47,438,275	47,894,049

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,542,070	1,333,897
短期借入金	118,426	114,569
1年内返済予定の長期借入金	3,686,336	3,709,380
未払金	1,653,257	1,724,710
リース債務	8,294	—
未払法人税等	465,461	856,977
賞与引当金	796,925	785,165
役員賞与引当金	14,100	23,740
その他	562,393	461,751
流動負債合計	8,847,265	9,010,192
固定負債		
長期借入金	8,637,712	9,087,876
役員退職慰労引当金	582,100	582,100
リース債務	31,605	—
その他	166,542	160,629
固定負債合計	9,417,960	9,830,605
負債合計	18,265,226	18,840,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,655,932	6,655,932
資本剰余金	6,963,144	6,963,144
利益剰余金	15,579,102	15,458,901
自己株式	△11,784	△11,244
株主資本合計	29,186,395	29,066,734
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	△13,347	△13,482
評価・換算差額等合計	△13,346	△13,482
純資産合計	29,173,048	29,053,251
負債純資産合計	47,438,275	47,894,049

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	30,526,648	30,508,044
売上原価	10,139,454	9,871,272
売上総利益	20,387,193	20,636,772
販売費及び一般管理費	19,595,559	19,752,671
営業利益	791,634	884,101
営業外収益		
受取利息	25,877	20,045
受取配当金	16	165
受取賃貸料	117,064	118,084
その他	56,840	49,071
営業外収益合計	199,799	187,365
営業外費用		
支払利息	96,909	98,175
賃貸費用	99,705	104,629
その他	17,319	16,961
営業外費用合計	213,934	219,766
経常利益	777,499	851,700
特別利益		
固定資産売却益	118	15,361
賞与引当金戻入額	6,826	7,296
貸倒引当金戻入額	1,140	3,852
会員権売却益	—	3,112
受取保険金	—	22,928
立退料収入	—	22,000
特別利益合計	8,085	74,550
特別損失		
固定資産除却損	37,665	17,281
店舗閉鎖損失	16,690	35,362
投資有価証券評価損	1,508	—
減損損失	120,694	80,454
リース解約損	—	380
和解金	—	2,000
特別損失合計	176,558	135,479
税金等調整前四半期純利益	609,026	790,772
法人税、住民税及び事業税	317,750	397,674
法人税等調整額	58,243	44,194
法人税等合計	375,993	441,868
四半期純利益	233,033	348,904

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	15,337,198	15,255,584
売上原価	5,079,709	4,885,833
売上総利益	10,257,488	10,369,750
販売費及び一般管理費	9,826,454	9,861,032
営業利益	431,033	508,718
営業外収益		
受取利息	14,723	10,126
受取配当金	3	150
受取賃貸料	58,986	59,104
その他	26,114	19,506
営業外収益合計	99,827	88,887
営業外費用		
支払利息	48,950	48,885
賃貸費用	49,165	52,714
その他	9,857	8,498
営業外費用合計	107,973	110,098
経常利益	422,887	487,507
特別利益		
固定資産売却益	—	11,174
貸倒引当金戻入額	1,107	10
受取保険金	—	22,928
特別利益合計	1,107	34,112
特別損失		
固定資産除却損	23,406	12,554
店舗閉鎖損失	5,105	25,094
投資有価証券評価損	1,508	—
減損損失	99,641	80,454
リース解約損	—	380
和解金	—	2,000
特別損失合計	129,661	120,484
税金等調整前四半期純利益	294,333	401,135
法人税、住民税及び事業税	239,396	325,585
法人税等調整額	△64,871	△102,347
法人税等合計	174,525	223,238
四半期純利益	119,807	177,897

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	609,026	790,772
減価償却費及びその他の償却費	1,244,022	1,181,808
減損損失	120,694	80,454
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,040	11,760
受取利息及び受取配当金	△25,894	△20,210
支払利息	96,909	98,175
有形固定資産除売却損益(△は益)	37,546	1,919
店舗閉鎖損失	13,222	28,104
建設仮勘定・店舗賃借仮勘定からの振替等調整費用	177,185	222,487
売上債権の増減額(△は増加)	△555	△119,997
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,377,687	20,862
仕入債務の増減額(△は減少)	257,199	207,772
未払消費税等の増減額(△は減少)	△445,300	107,210
その他	42,108	△125,105
小計	760,517	2,486,014
法人税等の支払額	△908,056	△785,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△147,539	1,700,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
建設仮勘定の増加及び有形固定資産の取得による支出	△2,044,099	△951,305
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の増加による支出	△328,193	△465,415
店舗賃借仮勘定、敷金及び保証金等の減少による収入	162,409	69,763
利息及び配当金の受取額	3,705	3,138
その他	△37,752	△69,042
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,243,930	△1,412,862
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	9,440	586,062
短期借入金の返済による支出	—	△578,415
長期借入れによる収入	2,000,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,857,930	△1,973,208
リース債務の返済による支出	—	△2,870
自己株式の取得による支出	△448	△539
利息の支払額	△97,192	△98,771
配当金の支払額	△228,708	△228,702
財務活動によるキャッシュ・フロー	△174,839	△796,445
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,289	4,810
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,568,598	△503,671
現金及び現金同等物の期首残高	5,259,436	3,699,918
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,690,837	3,196,246

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

飲食事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月24日開催の定時株主総会において、下記の配当に関する事項を決議し、配当金の支払をいたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間において利益剰余金が228,702千円減少しております。

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月24日 定時株主総会	普通株式	228,702	12	平成21年3月31日	平成21年6月25日	利益剰余金